

灯



理事長に就任して24年となり、ついに歴代最長となってしまった。加えて今年には教職員で最年長にもなり、さすがに長くなったと実感している。

若いころ前理事長が病気で何年か代行を務めたが、大量の伝票に決裁印を押す仕事があり、経験が浅いので機械的に押すだけといういかげんさであった。当時「慣れ



草野 義輔

るとおかしな伝票があったら自然と手が止まるようになる」と言われたが、内心そんなふうまくいくはずがない、と思っていた。しかし10年、20年と続けていくうちに確かに流れ作業のようには印鑑を押していても、ふと手が止まることがあり、見直す

ことが増えてきた。長年の蓄積で感性が磨かれてきたのかもしれない。

先般、大分県が日田市に払う国庫金を誤って中津市に払ってしまった、県は担当が1人だったのでと陳謝したという報道があった。近年は人件費抑制で官民を問わず人員を切り詰めている。当然1人で担当する仕事も多くなっていると思うが、仮に1人で仕事をして何人かの上司が決裁印を押すはずだ。

印鑑を押す際、誰も手が止まらなかったのだろうか。私も私学助成を頂いているので使い方については常に慎重に、丁寧な、が大原則だ。感性も年齢とともに鈍くなりつつあるが、来る年も無意識に手が止まるような仕事の流儀にこだわっていきたい。(昭和学園高校 理事長・日田市)